

地域防災計画を改訂します

昨年は、台風や大雨による風水害や、新潟県中越地震やスマトラ沖地震など多くの災害が発生しました。

また、地震調査研究推進本部地震調査委員会の調査によると、今後30年以内に震度6弱以上の地震が発生する確率として、当町に近い「神縄・国府津―松田断層帯」が最大で16%という、全国において最も高い確率であると発表されました。

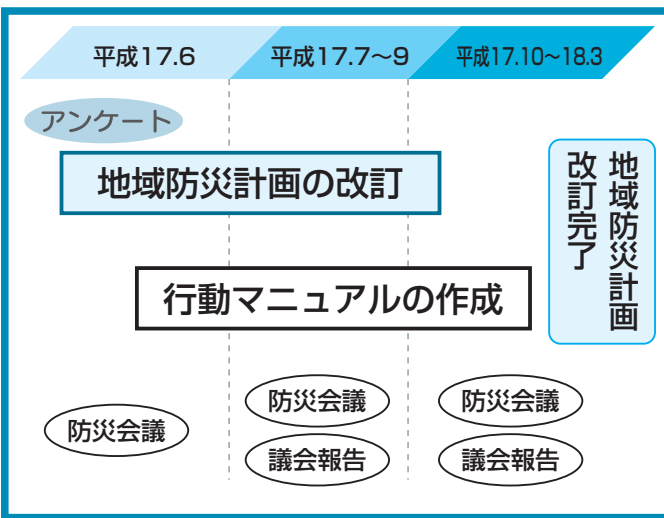
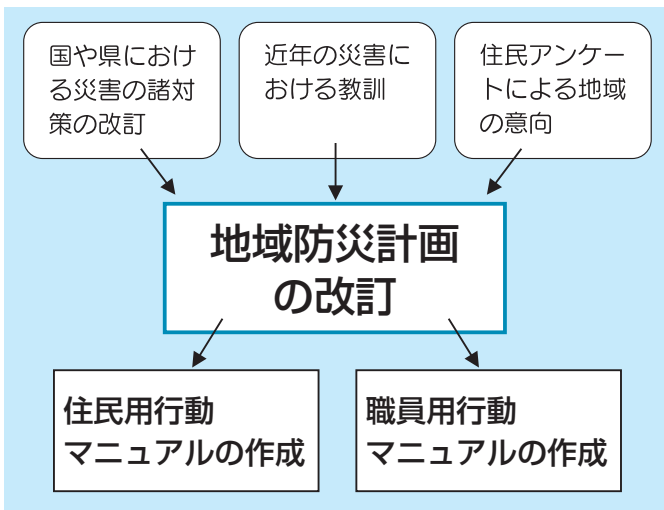
からない災害に対し、事前の対策がとて重要となっている。今、国や県においては、災害に対する諸対策の改訂を進めています。

そこで町でも、災害が発生した際の基本的な対策を定めた「地域防災計画」の改訂を行います。改訂にあたっては、県の地域防災計画を踏まえるとともに、近年発生した災害における教訓や、また町民の方へのアンケートを実施し、その内容について

反映させることにより、よりわかりやすく、実効性のある計画づくりを目指します。

さらに、いざ災害が発生した場合に、ただちに初動態勢が取れるよう、「住民用行動マニュアル」及び「職員用行動マニュアル」をあわせて作成する他、計画改訂にあわせた防災講演会の実施等を進めていく予定です。なお、計画改訂の完了は、平成18年3月を予定しています。

◎問い合わせ
防災対策担当 ☎内線241



住民の意見を伺うために、6月にアンケート調査を実施します。ご協力をお願いします。
(無作為に1,000件抽出予定)



地震に備えよう

大地震のとき、「誰かが助けしてくれるだろう」、「誰かが準備しているだろう」と非常用の備蓄をしていない人はいませんか？災害時は自分の身は自分で守るのが原則です。

特に食料や水は生活していくためにはとても重要ですので、最低でも3日分は備蓄が必要です。また正しい情報を確実に入

手するためのラジオや救急用の医薬品など、最低限の生活必需品を準備しておきましょう。組立式簡易トイレなども準備しておくとう便利です。



◎問い合わせ
防災対策担当 ☎内線241

消防団員の放水訓練とポンプ性能検査

5月15日(日)、大磯港において町内12分団の消防団員が集まり、ポンプの取扱い、放水訓練や放水圧力体験の訓練を実施しました。

また東の池では、消防ポンプ自動車と可搬ポンプの性能検査を行いました。この検査は、ポンプの真空試験、放水試験で、ポンプの規格に相当する性能があるかの検査です。検査の結果すべてのポンプが適合していることを確認しました。



◎問い合わせ
消防署 ☎(01)0911